

百名山で遭難多発!

今年に入って道内の百名山での遭難が多発しています!

北海道の百名山には、日帰りで登ることができる山がある一方、登山行程が長く宿泊しなければならない上級者向けの山もあり、特徴は様々ですが、どの百名山にも遭難のリスクがあります。

令和3年7月中には、百名山で19件の遭難が発生し、令和2年7月の4件と比べて15件増加しています。

特に利尻山、羅臼岳での発生が多く、2山合わせて9件の遭難が発生し、令和2年7月に比べ8件も増加しています。

百名山における7月中の遭難発生状況 (過去5年対比)

	発生 件数	遭難者数	百名山の内訳 (件数)										百名山 合計
			旭岳	羊蹄山	トムラウシ山	十勝岳	利尻山	幌尻岳	雌阿寒岳	斜里岳	羅臼岳		
平成28年	18	18	0	0	1	0	1	1	0	2	1	6	
平成29年	22	24	2	3	2	0	4	0	0	1	0	12	
平成30年	17	18	0	4	2	1	1	2	0	0	1	11	
令和元年	18	18	1	1	2	0	1	0	1	1	0	7	
令和2年	15	23	0	1	0	1	0	0	0	1	1	4	
令和3年	25	25	1	3	1	0	4	1	2	2	5	19	



遭難の原因としては、熱中症で動けなくなるものや登山道上で転倒し負傷するものが多数です。

ゆとりをもった登山計画を立て、十分な水分を携行して熱中症の予防に努めましょう。

また、一見安全な登山道上でも、転倒して負傷する可能性があるため、慎重な歩行に心掛けましょう!

北海道内の百名山

